

Ⅶ 暮らしの基盤を支える

1 生活基盤の確保

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
253		竹島領土権確立対策事業	31,867	<p>「竹島の日を定める条例」の趣旨を踏まえ、問題解決に向けた国民世論の喚起を促す取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹島問題研究会の開催 ・竹島の日記念行事の実施 ・啓発パンフレットの作成や竹島資料室の運営など広報啓発活動の実施 	総務部 [総務課]
254	新規	デジタル戦略推進事業	11,768	<p>ICT利活用の推進により、県民の利便性向上等を図るため、市町村の人材育成や事業者を対象とする研修、情報格差が生じないような対策等を実施</p> <p>①DX推進事業 市町村職員等に対してDX（デジタル・トランスフォーメーション）の基本的な取組に関する研修を実施</p> <p>②地域デジタル活用研修講師育成事業 高齢者等に対するICT機器利用講習会の講師人材を育成するための研修を実施</p> <p>③5G利活用推進に向けた普及啓発事業 県民が5G技術を体験できる機会を創出</p> <p>④オープンデータ普及促進事業 企業、県民等に対してオープンデータの普及促進のためのワークショップ等を実施</p> <p>(注) DX（デジタル・トランスフォーメーション）：「Digital Transformation」の略称。進化したIT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念のこと</p> <p>(注) 5G：「高速大容量」「低遅延通信」「多数同時接続」という3つの特徴を持つ第5世代移動通信システム</p>	地域振興部 [情報政策課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
255		J R 木次線利用促進事業	21,999	<p>人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響による鉄道利用者減少に歯止めをかけるため、地元協議会が実施する利用助成などの取組を支援 (No.40 一部再掲)</p> <p>①木次線乗車を伴う移動への助成 〔事業内容〕 学校や町内会などの団体が木次線乗車を伴う移動をした場合の J R 運賃、貸切バス運賃等を助成 〔助成率〕 1/2 〔助成上限額〕 1 件当たり 10 万円 〔負担割合〕 県 2/3・市町 1/3</p> <p>②木次線を活用したツアー造成・販売支援 【拡充】 県内外の観光客を対象とした木次線乗車を盛り込んだツアーの造成・販売の支援等</p>	地域振興部 [交通対策課] 商工労働部 [観光振興課]
256		特定有人国境離島地域社会維持推進交付金事業	358,330	<p>隠岐地域の住民等が継続的に居住できるよう、利用する航路及び航空路の運賃引き下げを支援</p> <p>①航路運賃低廉化事業 隠岐航路の現行住民運賃を J R 運賃並みに引き下げ 〔引き下げ限度額〕 J R 在来線運賃並み (ジェットfoilは特急指定席並み) 〔負担割合〕 国 5.5/10・県 2.25/10・町村 2.25/10</p> <p>②航空路運賃低廉化事業 隠岐ー出雲間の現行住民航空路運賃を新幹線並みに引き下げ 〔引き下げ限度額〕 新幹線運賃並み 〔負担割合〕 国 5.5/10・県 2.25/10・町村 2.25/10</p>	地域振興部 [交通対策課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
257		生活交通ネットワーク総合支援事業	411,167	<p>幹線交通から集落間交通まで、バス事業者・市町村・NPO等による地域生活交通を確保する取組を総合的に支援</p> <p>①地域生活交通再構築実証事業 「小さな拠点づくり」に向けて、輸送需要に応じた最適な交通手段の組み合わせによる地域生活交通の再構築を図るため、実証事業等に取り組む市町村を支援</p> <p>[支援内容] ・立ち上がり支援 ・運行支援</p> <p>[実施箇所] 30 か所程度 [助成対象] デマンド型バス・乗合タクシーや公共交通空白地有償運送等</p> <p>[助成率] ・立ち上がり支援 2/3 ・運行支援 1/2</p> <p>②生活交通確保対策交付金 ・市町村が行うバス路線等に対し、運行経費の一部を助成 ・NPO等が行う公共交通空白地有償運送に対し、運行経費の一部を助成</p> <p>[助成率] 1/3～1/2</p> <p>③地域間幹線系統確保維持費補助金 バス事業者による広域的・基幹的なバス路線の維持に対して、国庫補助と協調して、県・市町村が運行経費等を助成</p> <p>[助成率] 1/2</p> <p>④広域バス路線維持費補助金 バス事業者による複数市町村に跨るバス路線の維持に対して、県・市町村が運行経費を助成</p> <p>[助成率] 1/2</p>	地域振興部 [交通対策課]
			制度改正	<p>地域の実情に合った効率的な運行形態への転換を促すため、バスの運行欠損額への支援に関して、補助対象額に上限を設けるとともに、路線バス等の代替として実施する乗用タクシーの利用助成を支援対象に追加するなどの見直しを実施(令和4年10月から新制度の適用を開始し、令和5年度予算から反映)</p>	

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
258	新規	公共交通人材確保 推進事業	2,000	県内の公共交通事業者の人材確保のため、島根県旅客自動車協会が行う女性をターゲットにした広報などの入職促進策に係る経費の一部を助成 [助成率] 2/3	地域振興部 [交通対策課]
259		一畑電車運行維持 事業	195,243	沿線住民の日常生活に必要不可欠な一畑電車の運行を維持するため、インフラ所有権を移転しない「上下分離方式」により、線路・電路・車両の維持、修繕、更新経費を松江市、出雲市と共同で支援 ①基盤整備維持費補助金 線路・電路・車両の維持、修繕、更新に対する助成 [負担割合] 県 1/2・市 1/2 ②安全輸送設備等整備事業費補助金 安全性向上に資する設備の整備に対する助成 [負担割合] 国 1/3・県 1/3・市 1/3	地域振興部 [交通対策課]
260		隠岐航路運航維持 事業	99,190	隠岐島民の生活を支え、観光振興に不可欠な隠岐の海上交通確保を図るため、船舶の導入や運航に要した経費の一部を助成 ①船舶の導入に対する支援 超高速船及び島前内航船整備に要する財源として、隠岐4町村が借り入れた過疎対策事業債の元利償還金の一部を助成 ②船舶の運航に対する支援 ・島前内航船運航支援 島前町村組合が運航する島前内航船の運航費にかかる毎年度の欠損額の一部を助成 ・超高速船運航支援 超高速船レインボージェットの安定的な運航を図るため、指定管理料に対する隠岐4町村の実負担の一部を助成 [運航主体] 隠岐汽船(株) 船舶を所有する隠岐広域連合からの指定管理	地域振興部 [交通対策課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
261		道路整備事業（骨格幹線）	5,373,655 [うち補正] 608,375	<p>高速道路整備のストック効果を早期に全県へ波及させるとともに、災害時や緊急時の輸送路として重要な役割を担う「骨格幹線道路」について、未改良区間の整備を優先的に実施</p> <p>[計画概要] 県管理道路約 3,000km のうち、骨格幹線道路に位置づけられる約 690km の整備（R 3 年 3 月末の整備率 96%）</p>	土木部 [道路建設課]
262		松江北道路整備事業	713,400 [うち補正] 301,600	<p>松江市街地の渋滞緩和、災害時の迂回機能の確保及び山陰道へのアクセス向上等を目的として、地域高規格道路境港出雲道路の一部となる松江北道路の整備を実施</p> <p>[計画概要] 延長 10.5km 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 車線数 2車線 幅員 8.0m [R 4 実施内容] 測量設計</p>	土木部 [道路建設課]
263		松江熊野線街路事業	105,000	<p>橋梁の老朽化、耐震基準への対応及び安全な歩行空間確保のため、新大橋の架け替え等を実施</p> <p>[事業期間] H28～R10</p>	土木部 [都市計画課]
264		市町村下水道整備支援事業（生活排水処理普及促進交付金）	152,588	<p>生活排水処理施設の普及を促進するため、市町村が設置する集合処理施設や合併処理浄化槽の整備に係る経費の一部を助成</p>	土木部 [下水道推進課]